

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立春日北小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>保護者へのアンケートや学校評議員会の中で、学校の現状や今年度の取組については、おおむね高い評価をいただいている。全職員が一丸となって共通理解・共通実践に取り組んできた成果だと考える。今後も、全職員による情報共有を基盤に、組織的な対応力強化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人大切にしたい教育の充実のために、「心と体のアンケート」、「心の木」の取組、「いじめ宣言」、「人権集会」等、今後も全職員による情報共有を基盤として継続し、自他を大切にしたい心の醸成を図っていく。 学力向上に向けて、次年度も基礎・基本の定着を基盤に、児童が主体的に学習し、考えを深める言語活動の充実を目指し、教師の指導力向上に資する研修を深めていく。 多様な子ども達が安心して学べる学級づくりに向けて、「学習のきまり」を年度当初共通理解をし全職員で意識しながら徹底を図り、より充実した学級経営を行っていきける環境を整えていく。 今後も行事等の見直し及び精選をしながら、個人の目標をさらに具体化させることで、教師の意識を高め、業務改善・教職員の働き方改革を更に推進していく。
------------------	---

2 学校教育目標	<p>夢をもち 仲間とともに学ぶ 元気な北っ子の育成 ～思いやる 考える きたえる～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 一人一人を大切にしたい教育の充実 学力の向上 健やかな身体を育む教育の推進 開かれた学校づくりの推進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
●学力の向上	○算数科を中心とした学習指導法の工夫と改善	○算数科単元テストの「知識・技能」において、全校平均が80%以上 ○「自分の考えが深まった、新しい考えが見つかったりした。」の質問に対して、肯定的な回答をする児童の割合80%以上。 ○「話し合い活動を取り入れ、互いの考えを深め合っている」の質問に対して、肯定的な回答をする職員の割合80%以上。	・全教科において、対話活動を効果的に取り入れた授業を行う。その際、話し合いの視点を示し、見通しをもって話し合うことができるようにする。 ・児童が、一人一人の違いを認め合い、尊重し合える居心地のよい学級をつくる。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートで「学校には、いっしょに遊んだり話したりできる友達がいる。」と回答した児童が90%以上	・「心の木」の取り組みを継続し、温かい言葉や行為を放送で全校に紹介する。 ・児童の心の不安に気づき、早期対応するため、月1回心と体のアンケートを実施する。 ・異学年交流を図る縦割り班活動や金立特別支援学校・幼稚園・保育園等との交流学習を実施する。						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「組織運営に関するアンケート」で「いじめ防止等(いじめの定義、防止などのための取組、事案対応等)について組織的対応ができている」と回答した教職員80%以上	・いじめの早期発見のための月1回の「心のアンケート」を行う。 ・自他を尊重して行動する児童の育成をめざした集いを学期に1回行う。						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・ほめて伸ばす教育の実践(声掛け、ワークシート等へのコメント記入)。 ・中学生から中学校生活についての説明を聞いた、ゲストティーチャーを招いたり、校外学習を行ったりし、将来への夢をもつ機会を作る。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○学校評価アンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組んでいる。」と回答した児童90%以上	・望ましい生活習慣を形成していくため、月1回心と体のアンケートを実施する。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」実施週間を設定し、定期的な評価を指導に生かす。 ・栄養教諭と担任とのT.Tの食育の授業を全クラスで年間1回は行う。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日を設定する。 ・毎日退勤時にタイムカードもしくはPCにて入力をすることで退勤時間の意識化を図る。 ・iSchoolの校内連絡掲示板の活用を促進し会議の効率化を図る。 ・会議資料等のデータ化を更に図る。						
●特別支援教育の充実	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
○個に応じた教育	○教育相談・特別支援教育による支援の組織化 ○不登校の解消	○特別支援教育に関する専門性が向上した教員が7割以上 ○個別の指導計画の目標達成7割以上 ○完全不登校の児童をなくす	○月に1回程度、配慮を要する児童について情報交換をする場を設定し、共通理解に努める。 ○必要に応じてケース会議を開いて対応について検討し、チームで取り組んでいく。 ○学期ごとに、個別の支援計画の目標を振り返り、評価と見直しを行う。 ○別室登校児童や不登校児童の状況について、日常的に情報共有をする。						
○開かれた学校づくりの推進	○保護者や地域住民との情報の共有化 ○保護者や地域との連携強化	○学校評価アンケート「学校は、学級・学年だより、連絡帳や電話などで、子どもの様子がわかるように伝えている」と回答した保護者9割以上 ○学校評価アンケート「PTA活動や地域行事には進んで参加・協力している」と回答した保護者8割以上	○保護者や地域住民に対して、学校だよりや学年・学級だより、学校ホームページ等で積極的に情報を発信し、連携を強める。 ○学校行事等への参加・協力を依頼する。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育